

## 職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名        | 設置認可年月日  | 校長名                   | 所在地  |  |    |    |    |
|------------|--|-----------------------|--|--|----|----|----|
| 岡山理科大学専門学校 | 昭和50年4月14日   | 村岡 正                  | 〒700-0003<br>岡山県岡山市北区半田町8-3<br>(電話) 086-228-0383 |  |    |    |    |
| 設置者名       | 設立認可年月日  | 代表者名                  | 所在地  |  |    |    |    |
| 学校法人加計学園   | 昭和36年9月20日   | 理事長<br>加計 晃太郎         | 〒700-0005<br>岡山県岡山市北区理大町1-1<br>(電話) 086-252-3161 |  |    |    |    |
| 目的         | 動物看護学科2年制課程では修得できなかった看護技術を習得する。高度な動物看護技術、経済動物、環境動物、初任者研修資格等、人と動物との関係を習得する。 |                       |  |  |    |    |    |
| 分野         | 課程名  | 学科名                   | 専門士  | 高度専門士  |    |    |    |
| 文化・教養      | 文化・教養<br>専門課程  | 動物看護学科<br>3年制コース      | 平成6年文部科学大臣告示第84号                                 | —  |    |    |    |
| 修業年限       | 昼夜   | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義   | 演習   | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年         | 昼間   | 180                   | 112  | 30   | 38 | 0  | 0  |
| 単位         |  |                       |  |  |    |    |    |
| 生徒総定員      | 生徒実員   | 専任教員数                 | 兼任教員数  | 総教員数   |    |    |    |
| 90人        | 22人  | 10人                   | 12人  | 22人  |    |    |    |
| 学期制度       | ■1学期:4月1日～9月30日<br>■2学期:10月1日～3月31日  |                       | 成績評価   | ■成績表: 有<br>■成績評価の基準・方法<br>成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。評価は100～80点を優、79～70点を良、69～60点を可とし、59～0点を不可とする。 |    |    |    |
| 長期休み       | ■学年始:4月1日<br>■夏季:7月20日～8月31日<br>■冬季:12月26日～1月5日<br>■学年末:3月31日              |                       | 卒業・進級条件  | 本校に2年以上在学し本校が定めた授業科目を履修し、定められた単位数を修得した者に対して校長は総長と協議の上、卒業と認定する。<br>また学科に定める規定単位数を修得した者に対して進級と認める。 |    |    |    |
| 生徒指導       | ■クラス担任制: 有<br>■長期欠席者への指導等の対応<br>保護者への協力、カウンセリング指導                          |                       | 課外活動   | ■課外活動の種類<br>ホームルーム、学友会、クラブ活動<br>■サークル活動: 有   |    |    |    |

|         |   |          |   |
|---------|---|----------|---|
| 就職等の状況  | <b>■主な就職先、業界等</b><br>動物病院、ペットショップ、養鶏場、他<br><b>■就職率<sup>※1</sup></b> : 100 %<br><b>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup></b><br>: 100 %<br><b>■その他</b><br><br>(平成 28 年度卒業者に関する<br>平成29年3月31日 時点の情報)  | 主な資格・検定等 | 認定動物看護師資格<br>愛玩動物飼養管理士1,2級<br>介護職員初任者研修資格<br>サービス接遇検定 |
| 中途退学の現状 | <b>■中途退学者</b> 1 名 <b>■中退率</b> 4.3 %<br>平成28年4月1日 在学者 23 名 (平成28年4月1日 入学者を含む)<br>平成29年3月31日 在学者 22 名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)<br><b>■中途退学の主な理由</b><br>家庭の経済的都合、学生生活不適合<br><b>■中退防止のための取組</b><br>保護者を交えた三者面談、チューター制によるカウンセリング、<br>専門のカウンセラーの常駐 |          |   |
| ホームページ  | URL: <a href="http://www.risen.ac.jp">http://www.risen.ac.jp</a>  |          |   |

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国家試験受験資格要件を満たす必須科目の他、最新の知識・技術の修得に応じる科目について、業界と学術の双方からの要人を編集委員に迎え入れて、カリキュラムの構成に配慮している。また、専門職業人としてかつ、関係業務従事にも対応できる人材の養成を目指し、業界・企業の要望を真摯に取り入れるべく、業界の第一線で活躍し、専門に造詣深い講師を招聘することに努めている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

| 名 前    | 所 属                   |
|--------|-----------------------|
| 松本 道博  | パーム動物病院               |
| 赤木 佐千子 | 岡山大学自然生命科学研究支援センター技術員 |
| 村岡 正   | 岡山理科大学専門学校 校長         |
| 湯浅 康生  | 岡山理科大学専門学校 教務課長       |
| 奥田 宏健  | 岡山理科大学専門学校 動物系部長      |
| 小崎 直一  | 岡山理科大学専門学校 動物看護学科長    |

(開催日時)

第1回 平成28年 5月13日 13:00～

第2回 平成28年10月27日 13:00～

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

山口大学附属動物医療センター、岡山市、岡山県動物愛護センター、岡山県自然保護センター、蒜山ホースパーク、池田動物園とは産業動物やエキゾチックアニマルなどの演習等や動物愛護フェスティバルのボランティア研修を実施。さらに動物看護職の実践として、県内外の動物病院の協力のもと、インターンシップを必須科目としている。

加えて、高度医療実施動物病院にて、CT、MRI等の高度医療を集中的に学習している。

| 科 目 名               | 科 目 概 要   | 連 携 企 業 等                        |
|---------------------|---|----------------------------------|
| 動物園実習               | 飼育動物の給餌や運動、ケージの掃除・消毒等の世話を通して、飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。   | (株)池田動物園                         |
| 動物看護学実習Ⅰ            | 動物の看護を実践して学び、動物看護学で学んだ知識の理解を深める   | ジュンペットクリニック                      |
| 動物外科総合演習            | 外科学および外科技術の基本的理論を身に着け、看護の実践に役立つ技術とトレーニングを重ねた動物看護師を養成する。   | 田村動物病院                           |
| インターンシップ・多目的実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ | 動物病院や、動物関連施設の実情と仕組みを学び、それぞれの必要とされている技術・思考法を習得し、幅広い視野を養う。  | 山口大学附属動物医療センター、蒜山ホースパーク、県内外の動物病院 |
| 獣医看護演習Ⅱ             | CT、MRI等、先端医療器材の使用方法和、各種臨床検査等の技術を学び、専門職看護技術職を目指すため、パラメディカル技術を集中的に学習する。獣医系大学や、先端医療技術動物病院等で集中的に技術取得に努める。 | 倉敷動物医療センター アイビー動物クリニック           |
| 卒業研究                | 動物看護師資格認定試験を受験する。動物関連学科の動物看護学、基礎獣医学、動物愛護関連教科をより深く理解し、動物関連業務を主体的に取り組むためにグループ研究をし、成果を発表するとともに論文にまとめる。   | 岡山県動物愛護センター、岡山県自然保護センター、(株)池田動物園 |
| 初任者研修資格演習           | 動物看護師の職域拡大に資する為、人の動物介在医療が試行されている。それらを実践している社会福祉施設では、初任者研修資格等の公的資格が必要となる為、対応していく。                      | 有限会社「あさひ」ヘルパーステーション              |

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

獣医学会、獣医学ならびに動物看護学に関連する学術研究大会などへの教員派遣を奨励している。  
また、動物看護師公的資格化に向けての各種協議会、講習会等に役員および教員を派遣する。  
動物医療、動物愛護に関して獣医師会との協力・連携に努めている。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

| 名 前   | 所 属                           |
|-------|-------------------------------|
| 洗井 健一 | 一般社団法人 岡山県建築士会会長              |
| 春名 章宏 | 公益社団法人 岡山県獣医師会会長              |
| 國近 寛康 | 公益財団法人 岡山県動物愛護財団事務局長          |
| 平尾 智子 | 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 中国ブロック協議会会長 |
| 山本 拓哉 | 有限会社 マリンシアター 代表               |
| 中塚 利信 | 同窓会長、有限会社 中塚銘木店 代表            |
| 平井 義一 | 玉野総合医療専門学校 校長                 |
| 木畑 廣伸 | 吉備高原学園高等学校 校長                 |
| 庄 公寿  | 庄屋電装 株式会社 代表取締役社長             |

(学校関係者評価結果の公表方法)

<http://www.risen.ac.jp/evaluation.html>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.risen.ac.jp>

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |                  |                  |           |  |             |                  |             |        |        |                              |        |        |        |        |                 |
|-------------------------------|------------------|------------------|-----------|--|-------------|------------------|-------------|--------|--------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 分類                            |                  |                  | 授業科目名     | 授業科目概要   | 配当<br>年次・学期 | 授<br>業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                              | 場所     |        | 教員     |        | 企業<br>等との<br>連携 |
| 必<br>修                        | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |           |  |             |                  |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習・<br>実<br>技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |                 |
| ○                             |                  |                  | コンピュータ演習Ⅰ | Windows、インターネットおよびオフィスソフト (Word, Excel, PowerPoint) の実用的な利用方法を習得し、ビジネスの現場で役立つ情報リテラシーを習得する。   | 1後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | コンピュータ演習Ⅱ | ペットショップのホームページに必要なコンテンツを考えながら、ホームページ作成ソフトを利用してホームページを制作する方法を習得する。  | 2前          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | キャリアマナーⅠ  | 『あなたと一緒に働きたい』就職試験までにそう言ってもらえるように、しっかりとビジネスマナー、サービス接遇の基本を学ぶ。気持ちの持ち方ひとつで、表情や行動が変わり、周囲に与える印象も向上する。人に喜んでもらえる対応ができるように、自分を見つめ、知識と教養を身につけていく。(サービス接遇準1級取得を目指す) | 1前          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | キャリアマナーⅡ  | 『あなたと一緒に働きたい』就職試験までにそう言ってもらえるように、しっかりとビジネスマナー、サービス接遇の基本を学ぶ。気持ちの持ち方ひとつで、表情や行動が変わり、周囲に与える印象も向上する。人に喜んでもらえる対応ができるように、自分を見つめ、知識と教養を身につけていく。(サービス接遇準1級取得を目指す) | 1後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | RS特別講義    | 「建築」「動物」の分野を超えた幅広い学外有識者を招聘し、様々な知識教養を身につけ、幅広い視野を養うことを目的とする。   | 2後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 動物人間関係学   | 人と動物の関係を歴史から動物愛護・動物福祉について考え、動物介在活動および教育について学ぶ。またペットロスのサポートについても学ぶ。   | 1後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 動物行動学Ⅰ    | 犬および猫の身体的、感覚的能力の基本的な事柄を学び、それぞれの行動特性等を理解する。   | 1前          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 動物行動学Ⅱ    | 飼い主が直面する問題行動のケーススタディーを現実にも即して理解し、治療と予防方法を学習する。   | 2後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 動物行動学Ⅲ    | 行動学Ⅰ・Ⅱで習得した犬の基本的な行動様式を基礎に、問題行動や対処方法を学習する。  | 3後          | 30               | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 動物飼養管理学Ⅰ  | 1年次の動物飼養管理学に関わる講義であり、哺乳類、鳥類、爬虫類等の適正飼養、ペットビジネス、動物の愛護に関わる知識及び関係法令を習得する。日本愛玩動物飼養管理士(2級)資格を取得する。   | 1前後         | 60               | 4           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        | ○               |
| ○                             |                  |                  | 動物飼養管理学Ⅱ  | 哺乳類、鳥類、爬虫類などを含む動物の適正飼養及び動物愛護の普及に関する知識、動物関係法令の習得を目標とする。日本愛玩動物飼養管理士(1級)資格を取得する。  | 2前後         | 60               | 4           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |
| ○                             |                  |                  | 環境・産業動物概論 | 近年における野生動物や産業動物の実態について学習し、動物看護師の使命について理解するとともに、職域の拡大を期す。   | 3前後         | 60               | 4           | ○      |        |                              | ○      |        |        |        |                 |

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |          |          |              |   |         |              |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|-------------------------------|----------|----------|--------------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類                            |          |          | 授業科目名        | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
| 必修                            | 選択<br>必修 | 自由<br>選択 |              |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| ○                             |          |          | 魚類・魚病学<br>概論 | 水産動物、観賞魚等それぞれの生態と実際、及び疾病について理解し、動物看護師の職域拡大を期す。  | 3前      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物栄養学        | 産業動物とコンパニオンアニマルではその飼養目的が異なる。動物はライフスタイル、ライフステージに応じて必要なエネルギー、必須栄養素を摂取しなければならない。日常の飼養管理の基礎を理解する。 | 1前      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物病理学Ⅰ       | 獣医学に係る者は必ず病気の基本を学習し、病気の成り立ちを理解しなければならない。病気の基本を系統的に理解させる。                                      | 1後      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物病理学Ⅱ       | 病理学Ⅰの総論に次いで、各論として体躯及び各臓器の疾病を病理学的・具体的に理解する。病原体による疾病発生メカニズムと衛生管理を学ぶ。                            | 2前後     | 60           | 4           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 解剖・生理学Ⅰ      | 解剖学、生理学は獣医学の基礎でもあり、動物に接する仕事や動物を飼育管理する上でも重要な科目である。この科目では犬猫を中心に、動物の複雑な体の構造と機能について系統的に理解させる。     | 1前後     | 60           | 4           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 解剖・生理学Ⅱ      | 各種動物の体の構造と各器官の働きを役割を中心に理解して行く。  | 2前後     | 60           | 4           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物形態機能学      | 動物に接するときに必要な各臓器の形態構造と生理機能を理解する。   | 1前      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 公衆衛生・関係法令    | 獣医公衆衛生は動物の健康を介して人間の健康に寄与する教科である。近年の人・動物の共通感染症や生存環境を疫学的及び系統的に理解させる。                            | 2前後     | 60           | 4           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物感染症学Ⅰ      | 動物の病気（主に犬猫）の中で感染症の占める位置は大きい。本講ではその原因となる微生物について学び、感染症の発生と予防についての知識を深める。                        | 1前      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 動物感染症学Ⅱ      | 寄生虫学は獣医学の基礎となるもので、人畜共通感染症も多く、動物看護師にとって必須である。鑑別、ライフサイクル、治療について学習する。                            | 1後      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 薬理・薬剤学Ⅰ      | 薬理・薬剤学は、動物を治療していく上で正しく理解する必要がある。直接獣医師の指示のもと、調剤、投薬のサポートをする動物看護師を育成する。薬理・薬剤学を臨床に連結させる           | 1後      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| ○                             |          |          | 産科・繁殖学       | 産科・繁殖学は生命誕生を知る重要な学問であり、色々な動物の繁殖生理を学ぶことによって、希少動物の保護の問題や愛玩動物の飼育管理のあり方など、より幅広く理解させる。             | 1前      | 30           | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |      |      |              |  |         |              |             |      |    |          |    |    |    |    |         |  |
|-------------------------------|------|------|--------------|--|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|--|
| 分類                            |      |      | 授業科目名        | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |  |
| 必修                            | 選択必修 | 自由選択 |              |  |         |              |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |  |
| ○                             |      |      | 動物疾病看護学Ⅰ     | 動物の病気はその種類、症状だけを見ても実に多種多様である。「どんな病気があるのか?」「何が原因でどこにどんな症状が現われるのか?」「治療法は?」といった疑問を解消するべく、犬猫を中心に病気を器官系統別に分類して理解を深める。 | 1前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |  |
| ○                             |      |      | 動物疾病看護学Ⅱ     | 動物の病気Ⅰに引き継いだ系統別の病気や犬種遺伝性の病気、さらにウサギやげっ歯類、鳥類といったその他の小動物の病気についても解説する。   | 2後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  | ○       |  |
| ○                             |      |      | 動物疾病看護学Ⅲ     | 動物の臨床に当たり内科疾患の診断、治療に結びつく様々な検査方法、その意義や結果に対する知識を身につける。   | 2前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |  |
| ○                             |      |      | 動物看護学Ⅰ       | 動物看護をする専門技術者として、動物医療を支えるために必要な知識と技術について学ぶ。   | 1前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  | ○       |  |
| ○                             |      |      | 動物看護学Ⅱ       | 小動物診療現場で動物看護師として働く時、動物の生命・健康について、科学的・合理的な発想ができるように看護能力を養う。   | 1前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |  |
| ○                             |      |      | 臨床検査学        | 動物内科学で学習している様々な検査について、必要な実習を追加して知識を深める。  | 1前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |  |
| ○                             |      |      | 入院・幼齢・老齢動物管理 | 動物病院におけるV Tの役割を理解し、受付業務や診療室・手術室での業務を具体的に学ぶ。多様化するV Tの業務に必要な知識と基本マナーを身につける。  | 2前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  | ○       |  |
| ○                             |      |      | カウンセリング技法Ⅰ   | 1) 相談者として必要な基本的態度を体験的に学ぶ。<br>2) 傾聴による面接技法を学ぶ。<br>3) 相談者としての自分のありようを自覚する。   | 1後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    |    | ○       |  |
| ○                             |      |      | カウンセリング技法Ⅱ   | 動物看護師としての面接技法、相談者としてのありようを学習し、理解を深める。  | 3後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    |    | ○       |  |
| ○                             |      |      | 社会福祉概論       | 日本の福祉社会の実際を把握するため社会保障、福祉施設、思考法などを学び、動物看護師としての対応方法、ありようについて理解する。  | 3前      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    |    | ○       |  |
| ○                             |      |      | 動物介在活動(AAA)Ⅰ | 動物の肉体的・感覚的能力の基本を理解し、その行動過程から、動物の人への能力活用を理解する。  | 2後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    |    | ○       |  |

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |      |      |                   |  |         |              |             |      |    |          |    |    |    |    |         |
|-------------------------------|------|------|-------------------|--|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                            |      |      | 授業科目名             | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                            | 選択必修 | 自由選択 |                   |  |         |              |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                             |      |      | 動物介在活動Ⅱ           | 広く動物が人と関わる活動全般について、リサーチ、考察を通して視野を広げる。  | 3後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  | ○       |
| ○                             |      |      | ペット行政関係学（ケーススタディ） | ペットショップ、動物病院等のペットに関する業界の実際と、法律関係および行政関係を学習する。  | 3後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  | ○       |
| ○                             |      |      | リハビリテーション概論Ⅰ      | 人のリハビリテーションの実際と、動物介在療法応用の可能性について学習する。  | 3前      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | リハビリテーション概論Ⅱ      | 人のリハビリテーションの実際と物理療法、運動療法への動物介在療法応用の可能性について学習する。  | 3後      | 30           | 2           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | 動物管理学             | 家畜を中心とした産業動物、野生動物、家庭動物の位置づけと管理の有り様を実学に即して学習し、基本的な応用技術を習得する。                              | 3前後     | 60           | 4           | ○    |    |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | 動物管理学実習           | 産業動物、野生動物、家庭動物の位置づけと管理の在りようを実学に即して学習し、基本的な応用技術を習得する。                                     | 3前      | 30           | 1           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | 動物飼育実習Ⅰ           | 飼い主のために適切なアドバイスのできるように、犬について、犬の扱いについて情報知識と近代的な犬の行動学、心理学に基づいたトレーニング技術を学ぶ。                 | 1前後     | 60           | 2           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | 動物飼育実習Ⅱ           | 学校飼育動物の給餌や運動、ケージの掃除・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。                     | 1前後     | 30           | 1           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | グルーミング実習Ⅰ         | グルーミングの基礎技術を実技を通して理解し、動物の扱い方を学習する。   | 2後      | 60           | 2           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |
| ○                             |      |      | グルーミング実習Ⅱ         | グルーミングの基礎技術から応用技術の実際を理解しグルーミング技術を深める。  | 3前      | 60           | 2           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |
| ○                             |      | ○    | 動物園実習             | 学内飼育動物の給餌や運動、ケージの掃除・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。校外（動物園など）での実習も組み入れる。 | 1前後     | (60)         | (2)         |      |    |          |    |    | ○  | ○  | ○       |
| ○                             |      |      | 動物看護学実習Ⅰ          | 前期は動物の看護を実践して学び、動物看護学で学んだ知識の理解を深める。後期は動物看護学で学んだ知識を実践して理解を深める。                            | 1前後     | 60           | 2           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  | ○       |
| ○                             |      |      | 動物看護学実習Ⅱ          | 動物看護学Ⅰ、動物看護学実習Ⅰで学んだ看護技術を、動物医療の実際に応用してより理解を深める。   | 2前後     | 60           | 2           |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         |



授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |      |      |          |  |         |              |             |      |    |          |    |    |    |    |         |
|-------------------------------|------|------|----------|--|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                            |      |      | 授業科目名    | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                            | 選択必修 | 自由選択 |          |  |         |              |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                             |      |      | 動物看護学実習Ⅲ | 動物看護の衛星技術をグルーミング道具の使い方、動物の扱い方から学習する  | 2前      | 120          | 4           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 動物看護学実習Ⅳ | 動物看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで修得した理論、技術を動物病院の実際に即して応用し、学習する。今後の動物看護師のあり方、応用技術を修得していく。                             | 3前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床検査学実習Ⅰ | 臨床の現場で使用される検査器具・機器の取扱いに習熟し、検査データの意義を理解する。  | 1前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床検査学実習Ⅱ | 動物感染症の原因となる細菌、ウイルス、原虫の動態を理解し、検査データの意義を学習する。  | 1前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床検査学実習Ⅲ | 感染症の原因となるウイルス、細菌、寄生虫を客観的、総合的に理解し、動物の感染症、食中毒、環境衛生及び公衆衛生関連技術を習得し、病院、企業、団体等の就職に資する。実習を通して技術を把握していく。 | 2後      | 30           | 1           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床検査学実習Ⅳ |  | 3前      | 30           | 1           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床検査学実習Ⅴ | 動物の疾病を基礎獣医学をベースに微生物学、免疫学、生化学的に診断する技術を実際に即して学ぶ。   | 3前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床病理学実習Ⅰ | 動物医療における臨床検査の意義を疾病と関連づけて理解するために、身体を構成する各臓器の微細構造を学習する。また、各種動物の血液、糞便等の実習検査を行う。                     | 2前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床病理学実習Ⅱ | 疾病の病理標本や各種臨床検査資料を基に、動物の疾病について理解を深める。各種動物の実習検査をし、疾病を理解する。   | 3前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 臨床病理学実習Ⅲ | 疾病の細胞診や組織病理学的診断技術等の高度医療技術を学習する。  | 3前後     | 60           | 2           |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                             |      |      | 動物外科総合実習 | 動物病院の現場では、獣医学的知識に基づく確実な技術を身に着けた、動物看護師が求められている、基本的理論を身に着け、実践に役立つ技術とトレーニングを重ねた、動物看護師の育成を目的とする      | 2前後     | 120          | 4           |      |    | ○        | ○  |    | ○  | ○  |         |

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |      |      |                 |  |         |              |             |      |    |          |    |    |    |    |         |   |
|-------------------------------|------|------|-----------------|--|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|---|
| 分類                            |      |      | 授業科目名           | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |   |
| 必修                            | 選択必修 | 自由選択 |                 |  |         |              |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |   |
| ○                             |      |      | インターンシップ・多目的実習Ⅰ | 動物病院や、動物関連施設の実情と仕組みを学び、それぞれの必要とされている技術・思考法を習得し、幅広い視野を養う。   | 1後      | 60           | 2           |      |    |          | ○  |    | ○  |    | ○       |   |
| ○                             |      |      | インターンシップ・多目的実習Ⅱ |  | 2後      | 60           | 2           |      |    |          | ○  |    | ○  |    | ○       |   |
|                               |      | ○    | インターンシップ・多目的実習Ⅲ |  | 3後      | (30)         | (1)         |      |    |          | ○  | ○  |    | ○  |         | ○ |
| ○                             |      |      | 特別講義            | 動物に係る教科をより深く理解するため、専門教科、動物関連業界、自然環境、関連法規等を課題として取り上げ学習する。動物看護師が習得すべき標準的看護知識を習得する。動物病院看護業務、生命に関する本質的問題、伴侶動物や産業動物等総合的に学習する。動物看護師が習得すべき標準的看護知識を習得する。動物病院看護業務、生命に関する本質的問題、伴侶動物や産業動物等総合的に学習する。 | 2後      | 30           | 2           |      | ○  |          | ○  |    |    | ○  |         |   |
| ○                             |      |      | 獣医看護演習Ⅰ         | 動物看護師が習得すべき標準的看護知識を習得する。動物病院看護業務、生命に関する本質的問題、伴侶動物や産業動物等総合的に学習する。動物看護師統一認定試験を受験する。  | 2後      | 30           | 2           |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |   |
| ○                             |      |      | 獣医看護演習Ⅱ         | CT、MRI等、先端医療器材の使用方法和、各種臨床検査等の技術を学び、専門職看護技術職を目指すため、パラメディカル技術を集中的に学習する。獣医系大学や、先端医療技術動物病院等で集中的に技術取得に努める。  | 3前後     | 60           | 4           |      | ○  |          |    | ○  |    | ○  | ○       |   |
| ○                             |      |      | 動物内科学総合演習       | 動物内科学の実際と看護学の応用について実例をもとに演習する。   | 3前後     | 60           | 4           |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |   |
| ○                             |      |      | 臨床栄養学演習         | 動物のライフステージにおける栄養の管理について実際に側で演習する。  | 3前      | 30           | 2           |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |   |
| ○                             |      |      | 卒業研究            | 動物看護師資格認定試験を受験する。動物関連学科の動物看護学、基礎獣医学、動物愛護関連教科をより深く理解し、動物関連業務を主体的に取り組むためにグループ研究をし、成果を発表するとともに論文にまとめる。  | 2前後     | 240          | 8           |      | ○  | ○        | ○  |    | ○  |    |         | ○ |
| ○                             |      |      | 多目的演習A・B        | 3カ年の学習成果をまとめる能力を養う。その結果をグループ発表するとともに、論文にまとめる。  | 3前後     | 60           | 4           |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |   |
| ○                             |      |      | エキゾチックアニマル演習    | 犬、猫以外のエキゾチックアニマルを過程で飼育する機会は増加しており、その生理、生態について学習し、看護技術のありようを理解する。   | 3前後     | 60           | 4           |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |   |

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 動物看護学科 3年制) 平成28年度 |      |      |           |  |         |              |                   |      |    |          |    |    |    |    |         |
|-------------------------------|------|------|-----------|--|---------|--------------|-------------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                            |      |      | 授業科目名     | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数       | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                            | 選択必修 | 自由選択 |           |  |         |              |                   | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
|                               |      | ○    | 初任者研修資格演習 | 動物看護師の職域拡大に資する為、人の動物介在医療が試行されている。それらを実践している社会福祉施設では、初任者研修資格等の公的資格が必要となる為、対応していく。 | 3前後     | (130)        | (8)               |      | ○  |          |    |    |    | ○  | ○       |
| 合計                            |      |      |           |  |         |              |                   |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                               |      |      |           |  | 69      | 科目           | 3,420単位時間( 180単位) |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 各科目において学習評価と出席時数による認定によって取得された総単位数が81単位以上であること(全科目必修)。 | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。